

師弟同行

平成26年 6月2日(月)

第 2 号

発行者 相馬 郁夫

教育目標(目指す生徒像)～ 学びとる力 思いやる心 たくましい体 ～

□優勝！陸上男子400mR・柔道個人男女・バド女子ダブルス／春季大会

5月23日(金)～24日(土)、春季体育大会足利地区予選会が行われました。団体戦で入賞および県大会出場は次の通りです。6月6日(金)7日(土)9(月)に行われる県大会で、市の代表として頑張ってきます。尚、個人の入賞者の記録はHP上では掲載を控えさせていただきます。

陸上競技 共通男子 4×100mR 優勝

共通女子 4×100mR 準優勝

柔道男子団体 準優勝(県大会) 女子団体 3位

ソフトテニス 男子団体Bチーム 3位 女子団体Bチーム 3位

バドミントン 女子個人ダブルス優勝(県大会)

女子団体 3位(県大会)

剣道 男子団体 準優勝(県大会) 女子団体 3位

野球 3位

入賞しなかった選手たちもベストを尽くして頑張りました。



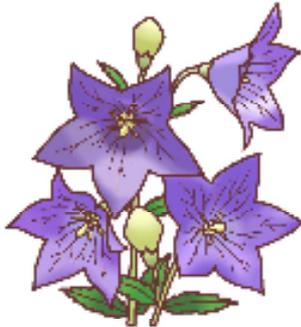
□5月の朝会で生徒諸君に伝えたこと

【前文省略】先日、保護者宛に「2年から3年に上がるときもクラス替えをします。」という内容のお知らせを配付しました。このことについて、13名の方がそれは止めて欲しいという意見を、目安箱に入れてくれました。まずは、正しい方法で意見を言ってきたことに感謝します。そのための目安箱です。その意見を真摯に受けとめて今日は朝会の話をしたと思います。

このような結論を出すに当たって先生達も話し合いました。そして最後は一人一人からアンケートを採って民主的な方法で結論を出しました。先生達もクラス替えをしない場合のメリット、デメリットは良く分かっています。また、逆にクラス替えをしたときのメリット、デメリットも分かっています。その先生達が話し合って意見を出し合ってクラス替えをしようと言う結論を出しました。今日は、なぜそのような結論を出したか考えてもらうきっかけを皆さんに伝えられれば充分だと思っています。それをきっかけに一人一人時間をかけて何を大切にしたらよいか考えていって欲しいと思います。

目安箱に意見を入れてくれた13名の内11名はなぜ止めて欲しいのか理由が書いてありませんでしたが、2人だけ自分の意見をしっかりと書いてきているので紹介したいと思います。一人目の理由は「今のクラスが安定しているから」です。二人目の理由は、ちょっと長い文ですがそのまま読みたいと思います。「今までずっと2・3年は同じクラスで過ごしてきました。クラス替えをするという意見をまず2年生一同に理由と共に発表してほしいです。もし3年生でクラス替えすると、6月に修学旅行があります。そのとき全く知らない人、もしくはあまり面識のない人と班行動をすると、一生の思い出となる行事がつまらなくなってしまいます。修学旅行は2年間共に過ごしてきた仲間と行くからこそ素晴らしい思い出となります。さらに来年度は、中学校生活最後の体育祭でもあります。なのでお願いします。クラス替えをしないでください。したくありません。今のこのクラスのメンバーで2年間過ごしていきたいです。」

まさしくその通りだと思います。言っていることも良く分かります。二人に共通していることは、今のクラスが自分にとって好意のもてる「いいな」と思えるクラスであるということです。そこで皆さんに考えてもらいたいと思います。



もし、逆にいやなクラスだったらどうでしょう。大切なことは1つの側面だけでなく色々な側面から物事を見て判断することです。修学旅行に全く知らない人、もしくはあまり知らない人と班行動するからつまらない。これも人の心理として良く分かります。しかしこれも「新たな仲間と親しくなれて楽しい」という側面もあります。色々な人格に触れることは人間の幅を広げます。先生達はこのような色々な側面を考慮し結論を出しました。

先生達のアンケートの中から先生達が共通に持っている最も大切にしたい気持ちを表していると思われる意見を1つ紹介したいと思います。それは「弱者の立場で考えることを優先したい。」という意見です。弱者とはつらい気持ちを人に言えずじっと我慢することしかできない人のことです。強い者が弱い者をいたわれる協和中であって欲しいと思います。【以下省略】

□主体的な生徒会からの提案！／生徒総会

5月20日（火）生徒総会が本校体育館で行われました。25年度活動報告、決算報告、26年度活動方針、活動計画、予算案について全校生徒で審議し全ての議案が承認されました。その後生徒会からの主体的な提案として、あいさつ運動、校則を守る呼びかけ、いじめゼロ宣言、物がなくなることについて、エコキャップ運動、王様ドッジボールなどについて提案と連絡がなされました。



□「佐々木の上のリエッツェル」チーム優勝！／王様ドッジボール



5月27日（火）生徒会主催で恒例の王様ドッジボールが行われました。縦割りチームにすることで、学年を越えて協力し親睦を深めること、3年生のリーダーシップを育成することが目的の生徒会行事です。ルールは相手チームには分からない王様を決め、王様が当てられた時点で試合終了というものです。優勝チームは「佐々木の上のリエッツェル」チームでした。

保護者の皆様へ（お願い）

本校に赴任して約2ヶ月が経過しましたが、本校の現状には憂慮すべきものがあると感じています。

1つには物がよくなりません。誰がやっているのか分からないため、いたずらなのか意地悪なのか、それとももっと別の精神的な問題によるものなのか原因は特定できませんが、事実として物がよくなっていません。

物を盗るという行為は犯罪ですので、一般社会では警察を入れるのが当然であると考えますが、学校という教育の場であることを考え現時点では入れていません。しかし、今後エスカレートするようであれば、警察に協力をお願いする予定です。

生徒達には、部室の鍵の管理や施錠の徹底、他の教室に入らない指導、自分の持ち物は見えるところに置くなど、繰り返し指導してきています。また、盗られた人がどれほどいやな思いをしているか考えさせ心に訴える指導をしています。職員にも、特別教室の施錠や帰りの会後の教室の施錠をお願いしています。そのため教頭先生は毎朝全教室の開錠をしてくれています。また、6月12日（木）に足利警察署生活安全課の方に触法行為や防犯について講話をしていただくことになっています。

人を信じる指導ではなく疑う指導になってしまっているのが残念でなりません。

2つ目は、いじめが後を絶ちません。次から次にいじめが発生しその生徒指導に先生達が追われています。強い者が弱い者をいじめる。複数の生徒が一人の生徒をいじめる。いじめが起こっていても見て見ぬふりする。とても残念なことです。

5月28日（水）に臨時の全校集会を実施し、生徒指導の小林先生からいじめについて話をしてもらいました。その内容については生徒指導だより「輝き」で保護者の皆様に配付されていると思います。生徒会でも、先日行われた生徒総会の中で「いじめゼロ宣言」を唱えるなどいじめ撲滅に力を入れています。また、最近のいじめはインターネット上でも行われることが多くなってきているため、6月9日（月）に情報モラルに関する講話を行う予定です。

いじめの原因は心にあります。いじめられる生徒の心の痛みを自分のものとして感じる事ができれば、すぐにでもいじめは無くなると思われれます。なぜその心の痛みが分からないのか？分かっているのか？いじめられているのか？いずれにしても心の教育の必要性を強く感じています。道徳の時間は勿論、日常生活の中で心の教育に力を入れていきたいと思っています。是非ご家庭でも思いやりや人の心の痛みが分かる指導をお願いします。また、いじめに遭っている場合も考えられますので、元気がなかったり悩んでいる様子が見られるときは、一声かけて相談ののってあげてください。もし、いじめに遭っているようであれば、担任にご連絡ください。



今回は、特に憂慮される2つのことを書きましたが、協和中生は、明るく元気で勉強や部活動に打ち込むことができる心豊かな生徒がたくさんいます。間違った行動をとってしまった生徒達も成長過程の一歩であり過ちを過ちとして認め、大切なことは何か学びながら成長していってくれると思っています。



□平成26年度の学校評議員

26年度の学校評議員として次の方々が教育委員会より委嘱されましたのでご紹介いたします。小野耕一様（学識経験者）、清水 栄様（福富2丁目自治会副会長、元PTA副会長）、小宮 清美様（御厨地区主任児童員）、寺内 克典様（御厨地区青少年育成会連絡協議会役員）、永倉 保枝様（協和中PTA副会長）1年間どうぞよろしくお願いいたします。